

## 各事業について

## フェスティバル事業

## ■東京の「顔」となるフェスティバルを

東京は、日本最大の人材と文化資源の集積地です。伝統文化からポップカルチャーまで日々新しい文化芸術が生み出される、世界に対する日本の文化の顔、日本の牽引者であり、アジア、世界との交流の拠点として重要な役割を担っています。東京の「顔」となる、様々な分野の芸術文化のフェスティバルを開催し、世界に向けた芸術文化の創造発信に取り組むのが「フェスティバル事業」です。

世界中の人々を魅了するとともに、東京で暮らし、活動するみなが誇りと思えるようなフェスティバルに発展させていきたいと考えています。アーティストのみならず、スタッフ、ボランティア、観客などが国内外から集まることにより、芸術文化の創造発信が活発に行われます。東京が世界における文化面でのプレゼンスを確立、アジアをはじめ様々な都市との国際交流拠点となることを目指します。

## ■伝統分野、演劇分野、音楽分野、美術・映像分野の各分野で展開

[平成 20 年度からの継続事業]

## ・フェスティバル/トーキョー

日本最大の舞台芸術の国際フェスティバル。

## ・六本木アートナイト

六本木の街を舞台としたオールナイトのアートの饗宴。

## ・恵比寿映像祭

東京都写真美術館の全館を使って展開する総合的な映像フェスティバル。

## ・東京大茶会

都内の庭園等で様々な流派の本格的な茶席や野点を楽しめる茶会。

## ・東京都交響楽団ハーモニーツアー

「国際都市東京のオーケストラ」都響のコンサートツアー。

[平成 21 年度からの継続事業]

## ・東京発・伝統 WA 感動

東京から発信する伝統芸能のフェスティバル。

## ・芸術監督セレクション

東京芸術劇場の芸術監督 野田秀樹セレクション作品の上演。

## ・海外批評家 in レジデンス

世界的な音楽批評家を招いて東京の音楽シーンを海外に紹介。

## ・Trans-Cool TOKYO Contemporary Japanese Art from MOT Collection

日本の若手アーティストの作品を海外で展示。

[平成 22 年度の新規事業]

## ・ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー 2010

ロベルト・ガッピアーニ氏を合唱指揮者に迎えた、「声」がテーマのクラシックの祭典。

## ・東京アートミーティング トランスフォーメーション

現代アートを中心とした異なるジャンルの表現が会う展覧会。

『フェスティバル/トーキョー10』

『Riesenbutzbach』(巨大なるブツバツハ村 仮訳)  
©Dorothea Wimmer

『第 2 回 恵比寿映像祭』

藤本隆行/真鍋大度/石橋素(Time Lapse  
Plant/偽加速器 2010(4 Rings))2010 年

『東京発・伝統 WA 感動』



日本舞踊「櫓のお七」

## 【平成 22 年度 フェスティバル事業 一覧】

### 1. 東京発・伝統 WA 感動 伝統芸能公演

開催時期: 8月～10月  
開催場所: 東京芸術劇場(豊島区)、  
国立劇場(千代田区) 他

邦楽、能楽などの一流の実演家による質の高い舞台を集めた伝統芸能フェスティバル。「隅田川」をテーマに能楽の古典の名作と邦楽の新作を上演する「隅田(すだ)の四季」や、楽器の体験、唄や語りのレッスン、プロの演奏家によるコンサートなど、さまざまなスタイルで邦楽に親しむ邦楽入門ワークショップなど、子供や初めての方も楽しめる工夫を凝らしたプログラムを実施します。

### 2. 東京発・伝統 WA 感動 東京大茶会 2010

開催時期: 10月  
開催場所: 浜離宮恩賜庭園(中央区)、  
江戸東京たてもの園(小金井市)

様々な流派の本格的な茶席や野点を楽しめる大規模な茶会。美しい庭園や由緒ある歴史的建造物を楽しみながら、昨年度は18,400人が参加。外国人向けの英語解説付き茶席や、親子で体験できる茶道教室なども開催し、茶文化の普及を図ります。

### 3. フェスティバル/トーキョー10 (F/T10)

開催時期: 10月～11月  
開催場所: 東京芸術劇場、にしがも創造舎、  
あうるすぽっと、シアターグリーン、  
自由学園明日館(豊島区) 他

日本最大の舞台芸術の国際フェスティバル。ポストドラマ演劇の巨匠クリストフ・マルターラーの初来日公演や、フランスの女性アーティスト ジゼル・ヴィエンヌが構成・演出・振付・舞台美術を務めるアヴィニョン演劇祭との共同制作作品、スペインのロジェ・ベルナットによる観客参加型のプログラムなど多彩な演目のほか、レクチャーやトークなどの関連プログラムを実施。今年の新たな取組みとして、若手アーティストを応援する「公募プログラム」を開始します。これまで2回開催し、12万人を超える人々が参加、その演目は新聞や雑誌でも高い評価を受けています。今後は、アジアを代表する舞台芸術祭として、更なる発展を目指します。

### 4. 芸術監督セレクション

開催時期: 5月～  
開催場所: 東京芸術劇場(豊島区)

東京芸術劇場の芸術監督 野田秀樹のセレクションにより、8月には日本の快快(ファイファイ)とタイのB-Floorの共同制作、11月には世界的な演出家であるロベール・ルパージュの「ブルー・ドラゴン」、1月～2月にはタニノクロウ(庭劇団ペニノ主宰)の新作を上演します。

### 5. ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー 2010

開催時期: 9月～10月  
開催場所: めぐろパーシモンホール、  
東京国際フォーラム(千代田区)、  
パルテノン多摩(多摩市)、  
サントリーホール(港区)

国際音楽の日になみ「声」をテーマとする新たなクラシック音楽の祭典。公募した合唱団員のオーディションには、123名の申込みがありました。第二次審査を経て、合格者を決定し、「スーパー・コーラス・トーキョー」を結成します。その後、ロベルト・ガッピアーニ氏の指導のもと、練習を積み重ね、9月にめぐろパーシモンホールでお披露目イベント、10月に東京国際フォーラム等で世界的な指揮者イオン・マリン氏と東京都交響楽団の演奏によるデビューコンサート「ヴェルディ:レクイエム」を開催します。関連事業として、アジアの作曲家から作品を公募、演奏会やワークショップを展開する「アジア音楽祭 2010 in 東京」も実施します。

## 6. 海外批評家 in レジデンス

開催時期: 10月(予定)

国際的な音楽批評家を招聘。東京滞在中に鑑賞したコンサートや音楽家の活動を海外の有力メディアで紹介。関連事業として、日本の批評家との対談なども予定しています。

## 7. 東京都交響楽団ハーモニーツアー

開催時期: 4月～

開催場所: ハノイ、ホーチミン、  
東京芸術劇場(豊島区)、  
日の出村、奥多摩町、檜原村、  
瑞穂町

「国際都市東京のオーケストラ」として評価の高い東京都交響楽団によるコンサートを、11月にハノイ、ホーチミン、国内は8月に東京芸術劇場、9月には多摩地域の町村で開催します。

## 8. 六本木アートナイト

開催時期: 3月(予定)

開催場所: 六本木エリア

六本木の街を舞台とした一夜限りのアートの饗宴。アート、デザイン、音楽、映像、演劇、舞踏などの多様な作品を街なかに点在させることでアートと街を一体化させ、非日常的な体験を作り出します。昨年度は、椿昇氏の新作やカンパニー・デ・キダムによるパフォーマンスなどの多彩なプログラムを実施し、2日間の全プログラムの延べ鑑賞者数は約70万人にのぼりました。

## 9. 東京アートミーティング トランスフォーメーション

開催時期: 10月～1月

開催場所: 東京都現代美術館(江東区)、  
東京藝術大学(台東区)

現代アートを中心にポップカルチャー、そしてフィルム、写真などのアーカイブ的な要素を含めた、文化人類学や社会学と共同したクロスディシプリナリーな観点から新しいアートの領域と、新しい展示の可能性を呈示。人類学者中沢新一氏と協働し、東京都現代美術館での展覧会を中心に、東京藝術大学とも連携した展示、シンポジウムなどを開催します。

## 10. Trans-Cool TOKYO Contemporary Japanese Art from MOT Collection

開催時期: 11月～1月

開催場所: シンガポール美術館

東京都現代美術館が所蔵するコレクションの中から、若手アーティストの作品をアジアの美術館等で展示し、日本の現代美術を海外へ発信します。

## 11. 第3回恵比寿映像祭

開催時期: 2月

開催場所: 東京都写真美術館(目黒区) 他

東京都写真美術館の全館を使って展開する総合的な映像フェスティバル。映像分野におけるジャンルを横断した作品紹介と同時に、ライブイベントやトークセッションなどを複合的に展開します。

# キッズ事業

## ■次世代を担う子供たちに向けて

キッズ事業では、次世代を担う子供たちの文化や伝統芸能に対する興味や関心を深め、表現や創造の素晴らしさを実感することができるよう、一流の芸術家から継続的に直接指導を受け、本物の芸術文化に触れる機会を提供します。子供たちが芸術文化に触れ、感動や共感を覚えることは、創造力、コミュニケーション能力の向上につながります。子供たちの豊かな感性を磨いて人間性を涵養するとともに、将来の文化を担う人材の発掘・育成も目指します。

## ■伝統分野、演劇分野、音楽分野の各分野で展開

### [平成 20 年度からの継続事業]

一流の実演家・アーティストの指導を受け、学び、その中で、子供たち自身が様々なものに気付き、感じ、そして、自ら表現する楽しさを覚えるという体験型のプログラムとして、3つの事業を展開しています。

#### ・キッズ伝統芸能体験

能楽、日本舞踊、箏曲、長唄など伝統芸能の一流の実演家から、都内の能楽堂などの稽古場で18回7ヶ月間にわたり直接指導を受けます。伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法をはじめ、厳しさなどの文化環境を自然に身につけられるような学びの場とし、積み重ねてきたお稽古の成果を3月に「ひのき舞台」で発表します。小学生から高校生の子供たち約300名が毎年参加しています。

#### ・パフォーマンスキッズ・トーキョー

ダンスや演劇、音楽などのプロのアーティストが学校や文化施設へ赴き、ワークショップを通じて、子供たちの意見を取り入れながら、一緒に作品を創り、子供たちが主役の発表公演を行います。子供たちは、集団で舞台を創作する過程で、本物のアーティストと触れあい、創造性を触発され、オリジナルな身体表現を見つけ、仲間とのコミュニケーションを深める体験をします。

#### ・ミュージック&リズム TOKYO KIDS

鬼太鼓座、バンブーオーケストラなど世界で活躍する演奏家の指導のもと、子供たちが自然のなかで竹の楽器を作り、演奏を学んで音楽を創り出し、発表コンサートを行います。楽器作りと演奏練習のワークショップに参加した子供たちが、都民広場で一堂に会し、プロの音楽家とともに、竹の楽器で壮大な音楽を奏でます。今年度のワークショップは、より多くの子供たちがこの体験に参加できるよう、会場を2か所から3か所（高尾の森わくわくビレッジ、世田谷区立池尻小学校第2体育館、台場区民センター）に増やして開催します。

### [平成 21 年度からの継続事業]

#### ・東京文化会館 青少年のための舞台芸術体験プログラム

東京文化会館で開催される国内外のオペラ、バレエ、オーケストラ公演のゲネプロを、主催者の協力を得て、舞台芸術に関心のある青少年に公開します。

### [平成 22 年度の新規事業]

#### ・TACT/FESTIVAL (タクトフェスティバル)

東京芸術劇場を会場として、児童演劇のフェスティバルを実施します。ベルギーのスタジオ・オルカなど海外の一流の劇団を5団体招聘して、舞台公演と参加型ワークショップを実施します。

\*TACT: Theatre Arts for Children and Teens の略

『キッズ伝統芸能体験』



『パフォーマンスキッズ・トーキョー』



(C) 鹿島聖子  
平成 21 年度 パルテノン多摩発表公演

『ミュージック&リズム TOKYO KIDS』



『東京文化会館 青少年のための舞台芸術体験プログラム』



『TACT/FESTIVAL』



## 【平成22年度キッズ事業一覧】

### 1. 東京発・伝統WA感動 キッズ伝統芸能体験

開催時期: 9月～3月  
開催場所: 稽古/能楽: 宝生能楽堂(文京区)、  
日本舞踊: 芸能花伝舎(新宿区)、  
東村山市立中央公民館、箏曲: 新宿  
文化センター、町田市民ホール、赤坂  
区民センター(港区)、長唄: 江東区  
文化センター(三味線)、杵屋会館  
(三味線・囃子、渋谷区)  
発表会/宝生能楽堂(能楽)、浅草公会  
堂(日本舞踊・箏曲・長唄、台東区)

参加者は初年度277名、昨年度315名と着実に増えて  
います。参加した子供たちからは、「伝統芸能に興味を  
持つようになった」「人前でも緊張しないようになった」  
などの感想を、また保護者からは、「礼儀を学ぶこ  
とができた」、「何ごとにも積極的になった」、「姿勢が  
とても良くなり、物を大切にするようになった」など  
子供たちの成長を喜ぶ声や、「子供たちばかりでなく、  
家庭内での伝統芸能に対する興味・関心が高まった」  
などの感想をいただきました。

### 2. パフォーマンスキッズ・トーキョー

開催時期: 6月～3月  
開催場所: 学校/都内小学校6校、中学校2校  
文化施設/ 耕心館(瑞穂町)、  
吉祥寺シアター(武蔵野市)、  
せんがわ劇場(調布市)、  
パルテノン多摩(多摩市)、  
練馬文化センター、ルネこだいら  
島しょ/八丈島ほか

参加した子供たちは、「自分たちのために真剣に考えて  
くれる人がいること、みんなで協力すること、一人で  
も手を抜いたらいいものにならないこと、あきらめない  
こと、小さな力でも集まれば大きな力になることな  
ど、たくさんのことを学んだ」と話してくれました。  
また、教育現場からは「今までより集中力がついたと  
思う。人前で恥ずかしがらずに堂々と自分を表現でき  
るようになった」、「子供たちの秘めた可能性を引き出  
してくれた。教師にはできない部分を担ってくれた得  
難い機会」などの評価を得ています。なお、耕心館、  
吉祥寺シアターとせんがわ劇場は現在参加者募集中で  
す。

### 3. ミュージック&リズムス TOKYO KIDS

開催時期: 8月～9月  
開催場所: 楽器作り・演奏練習/高尾の森わく  
わくビレッジ(八王子市)、世田谷区  
立池尻小学校第2体育館、台場区民  
センター(港区)、都庁前都民広場  
発表コンサート/都庁前都民広場

参加者は初年度183名、昨年度267名と着実に増えて  
おり、これまでに参加した子供たちからは、「竹からた  
くさんの音が生まれてびっくりした」、「ピタッと音が  
合った瞬間が感動的だった」などの感想がありました。  
保護者からは、「知らない人と音楽を通じて心を通い合  
わせるという共通体験で心が豊かになった」、「様々な  
モノが豊富にある今、苦勞しながらも自分の手で作り  
上げた世界にひとつだけの竹の楽器を子供たちが大切  
にし、一生懸命練習して目をキラキラと輝かせながら  
演奏していた」などの声が寄せられています。

### 4. 東京文化会館 青少年のための舞台芸術体験プログラム

開催時期: 5月～  
開催場所: 東京文化会館(台東区)  
6月18日 英国ロイヤル・バレエ団  
「リーズの結婚」  
7月14日 東京二期会  
「ファウストの劫罰」  
9月10日(予定) 英国ロイヤル・オペラ  
「マノン」  
10月8日 オーストラリア・バレエ団  
「白鳥の湖」  
10月18日 東京都交響楽団  
「第704回定期演奏会」  
(以降、調整中)

昨年度は、ミラノ・スカラ座、東京バレエ団など12公  
演で実施し、参加者1,006名。参加者からは、「普段な  
ら見たくても見られないものを見ることができて大満  
足でした」「バレエの公演は初めて生で観ました。美し  
さに魅せられ、圧倒されました」などの感動の声が寄  
せられました。

## 5. TACT/FESTIVAL (タクトフェスティバル)

開催時期: 8月

開催場所: 東京芸術劇場(豊島区)

下記5つの劇団を招聘して展開します。

- Companie Arcosm (カンパニー・アルコスム)  
フランス/音楽・ダンス  
「ECHOA (エコア)」  
2人の打楽器奏者、2人のダンサーによる新感覚パフォーマンス
- Theater Metronom (シアター・メトロノーム)  
ドイツ/演劇  
「Niemand heißt Elise (名無しのエリーゼ)」  
ここは国境の駅、エリーゼと駅員の心温まる物語
- Meridiano Theatre (メリディアーノ・シアター)  
デンマーク/演劇  
「Robinson & Crusoe (ロビンソン&クルーソー)」  
言葉の通じない二人の異邦人によるサバイバー・ドラマ
- COURPS (コープス)  
カナダ/演劇・マイム  
「Les moutons (ひつじ)」  
羊牧場へようこそ。羊の生態をたっぷりとお見せします?!
- Studio ORKA (スタジオ・オルカ)  
ベルギー/演劇  
「LAVA (ラヴァ)」  
特設テント内、30人限定で観る摩訶不思議な探検演劇

# 東京アートポイント計画

## ■東京における多様な地域の文化拠点の形成

「東京アートポイント計画」は、平成 21 年度より実施している事業で、アーティストと市民が協働するアートプログラムを、他分野と連携しながら実施しています。

ここで言う「アートポイント」とは、アートによって結ばれた「人・まち・活動」がクロスオーバーした結節点です。江戸時代から続く伝統文化や昭和時代の下町情緒、流行の最先端まで、東京にはさまざまな魅力をもつ地域が数多く存在しています。またそれらの地域ならではの人々の生活・文化や、それぞれのエリアで営まれる活動も非常に豊かです。しかし一方で東京には、消費的・流動的なライフスタイルを余議なくされてしまうという都市特有の問題もあります。コミュニティとの関係性がますます希薄化し、人々は自分のアイデンティティに不安を感じています。

「東京アートポイント計画」では、東京の特色ある人・まち・活動を結び、人々が自分のコミュニティに主体的に関わるきっかけを提供することによって、人々がコミュニティを、まちを、「自分のもの」として再生させ、市民の側から、東京の新たな文化を創造・発信することを目指しています。

## ■3つのアクションプログラムの相互作用

### 1) 「アートプログラム」

東京にあるさまざまな地域資源 — 人・まち・活動を結ぶことで新たな東京の文化を創造・発信

### 2) 「複合型プログラム」

教育・防災・産業・環境・福祉などの各分野と協働することで、市民によるさまざまな活動を促すとともに、東京に対する新たな発見の契機を提供

### 3) 「人材育成プログラム」

地域の多様な魅力を自ら発見・創造し、人・まち・活動をアートで結ぶ人材を育成

これらの3つのプログラムが相互的に作用しあうことによって、東京都内に多数の小さな「アートポイント」が形成されること、また、それら多数のアートポイントが集まりひとつのうねりとなって大きな文化パワーを形成していくことが、本事業のねらいです。

『イザ！カエルキャラバン！in 東京』



写真提供:NPO 法人プラス・アーツ

『ぐるぐるヤーマープロジェクト』



『TERATOTERA』



Art Center Ongoing 成田久・寝室点(2008)

『アーティスト・イン・児童館』



## 1) 「アートプログラム」

### 1. 墨東まち見世 2010

開催場所：墨東エリア

「墨東まち見世」は、2009 年から実施している、下町情緒の色濃く残る墨東エリアを舞台としたアートプログラムです。隅田川の東に広がるこのエリアは、江戸の昔から文人たちが集い、多彩な文化を育んだ地域として知られています。また、昭和時代の文化を色濃く残す商店街や路地など、江戸・東京の下町文化を今も感じさせるエリアです。「墨東まち見世 2010」では、ドラマトゥルクの長島確によるプロジェクト「墨田区在住アトレウス家」を通年で開催する他、路地や長屋などの地域資源を活かした作品の展示や、地域の人々とのコミュニケーションを誘発するワークショップなどを実施します。

### 2. TERATOTERA (テラトテラ)

開催場所：高円寺—吉祥寺間の中央沿線地域

JR 中央線の高円寺駅から吉祥寺駅区間を中心とした地域は、古くから多くの芸術家が居住し、映画、演劇、音楽などを愛する人たちにアピールする場が点在することで知られています。この地域は、ギャラリーや劇場などのアートスポットが充実している一方、地域全体としての文化的なつながりが十分に確立されていません。TERATOTERA では、この地域に点在するアートスポットを結ぶことによって、新たな日本の文化地区として発信することを目指します。2010 年は地域のアートスポットを網羅した周遊マップの作成や、各アートスポットのディレクターと協働で企画するイベント「TERATOTERA 途中下車の旅」などを開催していきます。

### 3. 川俣正 東京インプログレス

開催場所：汐入公園

都市東京を、ワークショップ、シンポジウム、トーク等を通して再考するとともに、そのプロセスを、一連のプロジェクトを通じて提示していきます。今年度はプロジェクトの実施拠点を汐入公園等に設置し、木造の塔（火の見櫓、タワー、観察塔等）を構築します。このプロジェクトは、その空間的、時間的な経験の総体のなかから「東京」という新しい都市の表象・イメージが構築されることを意図し継承的に展開していきます。

### 4. ぐるぐるヤ→ミ→プロジェクト

開催場所：谷中エリア

谷中境界が芸術に関わる様々な人々のプラットフォームになるよう、プロジェクトに誰もが企画参加できる連携システムをつくることをめざす活動です。「✓アート✓地域✓アート✓未来✓アート✓」の数珠つなぎ、をテーマとして、ギャラリー、道、寺、墓地、喫茶店、古民家などで、アートプロジェクトを実施していきます。2010 年度は、美術家のきむらとしろうじんじんと芸術家の卵たちが協働して谷中地域の市民の生活圏にアプローチするプロジェクトを仕掛けていく予定です。



## 5. ひののんフィクション 2010

開催場所：日野市

アーティストを招聘し、日野市「仲田の森自然体験広場」(旧蚕糸試験場跡)を拠点に地域力参集プロジェクトを展開します。2010年はテーマとして「違和感の融合」を掲げ2日間のフィクションでありつつも、日常の「日野」、日常の「仲田」、日常の生活とは異なる「ノンフィクション」空間を創出し、多様な違和感を心地よく混在させることを目的として活動していきます。今年度は、昨年度参加アーティスト wah、奥健祐+鈴木雄介を再び招聘し、昨年度の実績をふまえて更に生活圏に入り込んだ地域展開を図ります。

## 6. 岸井大輔プロジェクト「東京の条件 2010」

開催場所：秋葉原および都内各所

まちなかを舞台として、アーティストだけでなく、市民が様々な立場から創作活動に参加する環境を構築することを表現活動としている劇作家の岸井大輔と共に、東京都内各所でツアー方式の演劇公演等を行います。

## 7. Insideout/Tokyo Project

開催場所：東京と他府県の地域交流

「Insideout/Tokyo Project」とは、「東京」と「地方」の二点間交流を通して、新しい地域活動の在り方やコミュニティ・ネットワークを構築していくプロジェクトです。東京という都市の問題点として、東京に住む人々が「コミュニティ」や「つながり」の感覚を持ちにくいということが頻繁に指摘されます。このプロジェクトでは、「出身地域のアイデンティティ」というフレームを提示することによって、一緒にいられる仲間や同郷の人々への意識を喚起させ、誰もが地域コミュニティの一員であるという意識を再認識し、自分が属する地域性をもう一度新しく読みかえるための契機となるさまざまなプログラムを展開していきます。

## 8. なないろチャンネル

開催場所：秋葉原ほか都内各所

Webテレビの放送局という設定のもと、メディア形成とクロスメディアコミュニケーションの在り方を検証し、実験の場をつくり出していきます。千代田区秋葉原地域に美術系の学生をはじめとする参加者が集う活動拠点を設置。Ustream や Twitter といったウェブツールを用いながら、都内各地域ならびに全国各地との実験的なコミュニケーション活動を展開すると共に、新たなコミュニティの構築に取り組みます。また、東京アートポイント計画事業のほか、様々なアート活動の現場をリアルタイムに取材しウェブを通して広く発信していきます。

## 2)「複合型プログラム」

### 9. アーティスト・イン・児童館

開催場所：練馬区内児童館・学童クラブ・  
保育所など

「アーティスト・イン・児童館」は、子どもたちの日常的な遊び場である児童館にアーティストを招聘し、創作・表現のための「作業場」として活用してもらうプログラムです。本プログラムにおいて、子どもたちの遊びの活動と、アーティストの創作・表現の活動は対等なものとして児童館の中に共存します。アーティストは子どもたちの遊びの中に創作・表現の活動を見出すかもしれません。また、子どもたちはアーティストの創作・表現の中に遊びを見出すかもしれません。こうした遊び・創作・表現を通して、子どもたちとアーティストが出会っていく場をつくっていくのが、本プログラムの目的です。

### 10. イザ！カエルキャラバン！in 東京

開催場所：都内各所

楽しみながら防災が学べる防災アートプログラム「イザ！カエルキャラバン！in 東京」を東京都内各所で実施することで、「防災」の分野での「アートポイント」の構築をめざします。2010年度は、「イザ！カエルキャラバン！in 東京」を都内でさらに展開するために、「だいじょうぶ」キャンペーン（同実行委員会主催）の協力を得て開催団体の負担を最小限にした公募事業を行います。住民や協力団体等をつなぎながら東京ならではの新しい防災訓練および地域コミュニティのありかたを模索していきます。

### 11. 川プログラム

開催場所：都内各所(川)

東京の川/水辺の文化を再発掘するプロジェクトを立ち上げ、東京の川という資源を再考し、文化拠点として活用していく可能性を追求します。

## 3)「人材育成プログラム」

### 12. 人材育成プログラム Tokyo Art Research Lab

「東京アートポイント計画」では、人・まち・活動の接点である「アートポイント」を自ら作り出し、企画・運営することのできる人材を育成するための様々なプログラムを実施しています。2010年度からスタートする「Tokyo Art Research Lab」では、未検証の事例や現在進行中の事例を分析・検証するリサーチプロジェクトを実施します。生活圏に潜む課題や可能性を分析・検証することで、アートプロジェクトを持続可能にするシステムを構築することを目指します。またラボの活動を通して、地域と人をつなげていくアート活動を活性化させるための環境基盤を整備し、またそれを担う人材を育成していきます。

### 13. 論考シリーズ

アート関係者や批評家、建築家、社会学者、哲学者などに、東京の現在や未来について、アートの在り方について、様々な視点での論考テキストを寄せていただきウェブサイト上で発信していきます。